

五分館だより

第34号
豊丘村公民館
第五分館
編集 社会部
印刷 龍共印刷(株)

堀越の今日
H11. 4. 1 現在
戸数 91戸
人口 388人

林 惇 氏 当选 堀越の灯を守った村議選

豊丘村議会選挙

今回行なわれた村議選について記したいと思います。経過としては一月の定期総会の折に現職が統投しない旨の話があり、その後出馬の動きや出馬要請の動き等なく約四十日が過ぎました。告示日も迫る中で有権者大会が開かれ、ここまで来てしまえば無理して出す必要もない。地区推薦の不要論等の声が出る中、まだ間に合うから一人は出すのだとの意見も多く出されました。そのような中で選挙委員を選び一任し、現職、新人も含める中で検討し現職に絞り交渉に当り、たいへん御努力していただいたが断念し二度目の有権者大会を開き説明されました。一度は諦めかけたが「堀越から灯を消すな」等の声も多く地域の問題であるから対応は委員会に於て考えていただきたい旨の結論で有権者大会が終了しました。その後委員会として区長経験者、監事さんと一緒にとにかく一人は擁立させようという結論が出され元職に擁立を決定し要請して参りました。元職も経過や必要性等いろいろの中で決断し出馬を決意されました。

村議の定数減も次は噂されていますが、村内の草刈場とならず候補の擁立が遅かったけれど区民皆様の堀越から灯を消してしまつてはならないという意識が今回の票になったと思います。御支援ご協力大変に有り難うございました。

事務局長 小椋正敏

親切とゆとりの観光事業 まつたけ観光

松茸観光事業も、近年の社会状況や経済状況の中では従来の区民総参加の体制で取り組むことが難しいとの判断のもとに平成九年と

十年の二ヶ年、少数の専従者によって運営に当る方式を採ってきました。

しかし、たまたま昨年の予期せぬ結果をふまえて、くりを目指す為に努力したいと考えます。

特に来年度から実施されます介護保険制度は、保険料の格差や、全員の方が介護を受けられないと思われる不透明な部分も感じられ、住民平等で公平が福祉の原則の基に村独自の手立てが必要であると思われるので、後退のない様推進したいと思ひます。又、理事者と議会の原則的立場の違いを明確にしながら、十分にチェック機能が果せ、議会として又議員として「具体的な政策の最終決定」と「行財政運営の批判と監視」を完全に達成できる様努力したいと思ひます。

全村的視野を見つめる中で、地域社会の活力ある発展を目指して積極的に努力する所存であります。今後一層の御指導を賜りますようお願い申し上げます。

9月下旬
10月下旬
まつたけ観光
コース
10,000
6,500
4,500
堀越区民会館
35-4446

区内から部落懇談会の要望が強まり七会場で懇談会を実施してまいりました。

出席者の累計六十二名、出された御意見が要約して三十六項目でしたが、その中には一つの例を可とするもの、又は否とするもの等があり区民の方々の意向として纏め難いものもありました。今回与えられた紙面では詳細に報告ができませんので今年度の取り組みかたの要点についてお知らせして御理解をお願いしたいと思ひます。

一、この二年間行なつて来た専従体制を否定するものではありませんが、今年の応募者がなく、尚個人的に依頼も致しましたが、お願いできず、地区外からの専従にも問題がありますから観光事業に係わる区の機関から十名を委嘱してさきに報告致しました観光委員会

の構成で取組みます。このことは一人一人の負担を軽減すると共に一人でも多くの意見を運営面に直接生かすこと、更に今後の事業を継続していくのに多くの人に経験をしてもらうことが重要と考えます。

二、客本意の対応に心掛けるところ。相当額の料金を払つて来て頂くわけですから人数にあまりとらわれず客席にゆとりある予約とし、親切な接待で印象を良くすること。

三、従事者は区内で対応できるよう努力する。

四、茸の集荷は観光事業に必要な量を原則とし、区外の集荷には受入れ調整も行うこと。

五、経費の節減に努める。

六、イメージアップを図るためパンフレットの写真を差し替えてみる。

等でありますが、更に皆様の御意見を頂くなかで、よりよい運営をしてまいりたいと思ひます。

何卒御協力を頂きますようお願い申し上げます。

観光委員長 田島悦男

二十一世紀は、 住民自らの村づくり

豊丘村議会議員 林

惇

「地域から灯を消さないで」の区民の皆さんの願いのもと突然の白矢で誠に青天の霹靂でありましたが、灯し続けることが出来たこととは、区長以下一丸となつての取り組みであり、私の力ではなく、長年培われて

きた地域性の賜と確信します。いよいよ二十一世紀を迎えるに当って住民平等に参加し、新たな発想と展望の論議で、住民自らの村づくりで、本当に住んで良かったと名実共に味わえる村づ

くりを目指す為に努力したいと考えます。

まつたけ観光

お知らせ

球技大会予定
7月18日(日)
ゲートボール予選会
7月25日(日)
球技大会本大会
(ソフトボール・ソフトバレー・ゲートボール決勝)
◎6月に出場チームのまとめを致します。

春日神社 春のお祭り

―屋台車路上巡行―

春季例大祭が四月十日（土）と十一日（日）に挙行された。年番は上ノ垣外と西部と胡芝で、鏡餅つくりは西部、投げ餅は上ノ垣外と胡芝が担当した。



十日朝八時に役員、神楽保存会員、年番が神社の広場に集合し、役員の指示でそれぞれの作業にとりかかった。しかし、天気予報によると、だんだん下り坂に向かい、雲ゆきもあやしくなってきた。そこで行燈や屋台にはビニールをかけ雨天に備えた。今回は屋台車（だし）の巡行を、区民会館から神社まで行なう予定であったが、天気のことを考え、境内に据え置いた。

上に飾った行燈が風にとばされ、折角貼った紙も半ば破れ修復に苦労した。翌十一日は神楽保存会の方々が、朝早くから昼頃まで堀越区内を巡回し、祭りの意気を高揚して下さった。祭式は午後一時半から、初宮は二時すぎから、神楽奉納があつて、その後、餅投げが行なわれた。天気は今にもくずれそうであつたがどうにかもち、屋台車巡行をすることになった。

小若連と染めぬかれた祭りのハッピを着用した園児たちは、豆しぼりの鉢巻きをして、背には花笠を負いだしの先頭にたち、綱を曳き境内から路上に出て往復した。だしには祭典の役員も同行し、また般若面、天狗面、鬼面、ひよっとこ面阿亀面も随行し、だしに一段と光彩をそえた。園児たちも喜々として、満面紅潮し、祭りの雰囲気をも十分に味わい満足そうであつた。幼き日、鎮守の森での祭りの様子は、いくつになっても脳裏から離れないものである。

祭典の祝宴も、例年になく多くの方々が集まつたといわれ、会場の舞台も所せましの感であつた。区の発展と安泰を祈念し春の祭典をおえた。

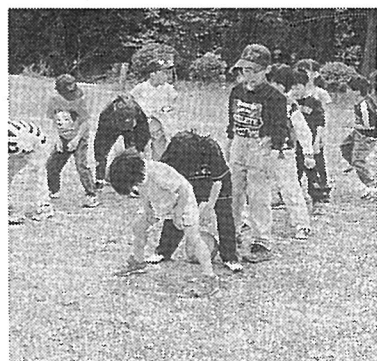
武田良實

より多くの区民が 参加できるお祭りに

春の祭典が四月十日十一日に行なわれました。あいにく十一日は、県会議員の選挙日であり、天候も気になりましたが、まああめの天気でありました。年番は、胡芝、西部、上垣外で、保存会との協力は無事できました。

宵祭は、雨が少し降り、寒く一回奉納をしただけで夜店も子供の出が悪いため中止しました。心配した店を出すことが出来ました。昼祭は、雨との予報でしたから、初めての試みとして、

午後、式典、初宮が終つてから、初めての下さい。神楽保存会副会長 松下源実



平成十一年度育成会役員

会長 田島 亨
副会長 菅 沼 健 司
庶務 武田 篤 子
役員 武田 陽 二
平 久 子
日下部 勝 英
武田 淳 子
武田 恵 子
小椋 めぐみ
久保田 正 勝
吉澤 邦 子

去る五月九日（日曜日）

小学校PTAによる「新入生を迎える会」が催されました。新入生は次の七名。

日下部 美 佳（勝英）
松下 真 依（敏文）
堀本 光 希（丈文）
小椋 悠 平（正紀）
林 大 地（伸）
越野 世 羅（信義）
平 彩 夏（勝彦）



黒谷箋

分館の役員になり、一年が経ちました。

堀越に生まれ育ち、暮らしている私ですが、現在、喬木村の職場に勤め、休みの日は家の事や農作業を行なう日々の中、考えてみると隣近所の人とはわかっていても、他の部落の人達と接する機会はなかなかなく、顔と名前が一致しないことがけっこうあります。そんな折、昨年分館の役員として携わらせていただき、他の役員の方々と共に活動し、教えていただくことでようやく、この堀越のためお役に立っているかなと思えるようになりました。役員の方々も、それぞれ忙しい中を出席し、協力し合つて地域の活性化のために尽力して下さっていることに頭が下がる思いです。

美化運動、球技大会、納涼大会、運動会、文化祭など、年間いろいろな行事があり、準備など大変なこともありますが、たくさんの方に参加していただき、共に楽しんでもらえた時、心から良かったと思います。私も微力ではありますが、今後共堀越発展のため、努力していきたいと思ひます。

武田恵子